



TEGAMI



Eigentum Deutsche Post

参加アーティスト

柴田有理  
 富田有紀子  
 ウチダヨシエ  
 河瀬和世  
 小林俊哉  
 稲垣智子  
 下向恵子  
 さとう陽子  
 高草木裕子  
 小野田賢三  
 布施久美子  
 三枝聡  
 kammer  
 大塩博美  
 Mine  
 大塚温子  
 小坂真夕  
 井上玲+関久雄  
 乾久子+福島世津子  
 石内都  
 橋村至星  
 川村紗智子  
 富岡直子  
 細木るみ子  
 鷺田恭

有田依句子  
 山本裕子  
 石井香菜子  
 丸子万葵  
 赤松亜美  
 鍋島正世  
 山本糾  
 佐々玲子  
 酒井ゆみ子  
 岡本裕希子  
 坂本佳与子  
 立堀秀明  
 大山龍顕  
 西山真実  
 山本まり子  
 宮川 chapa 未都子  
 (2011年ドイツに作品到着順)

# ドイツから戻って来た TEGAMI 5年目展

2011年震災後に日本のアーティストからドイツに届いた、気持ちを伝える355枚の  
TEGAMI(ハガキ大の作品)全と、その時に参加したアーティストのうち42名による新作の展示

ドイツで見せるーから、日本で共に考えるーへ、そして

鴨江アートセンター

2016年3月9日(水)～20日(日) 16-16

火曜～木曜10:00～19:00/金曜・土曜10:00～20:00/日曜10:00～17:00

※3月14日(月)展示はお休みさせていただきます。

主催：ドイツから戻って来たTEGAMI5年目展実行委員会

共催：鴨江アートセンター

助成：公益財団法人 浜松市文化振興財団 はままつ文化サポート事業

独立行政法人 国立青少年教育振興機構 子どもゆめ基金助成活動

公益信託チヨタ遠越準一文化振興基金

後援：中日新聞東海本社、静岡新聞・静岡放送

協力：専門学校浜松デザインカレッジ

TEN-TO 柏原崇之



公益財団法人  
浜松市文化振興財団  
はままつ  
文化サポート  
事業



# ドイツから戻って来たTEGAMI 5年目展

ドイツで見せるーから、日本で共に考えるーへ、そして

## イベントスケジュール

3月11日(金) 19:00~1階ロビー

語らいの場「5年前のこと5年間のこと」

あの震災から5年、それぞれの記憶  
それぞれの歳月を静かに語り合ひましょう。  
どなたでもご自由にご参加下さい。

3月12日(土) 17:00~20:00 会場 101

ギャラリートーク~オープングレセプション

乾久子、三枝聡、丸子万葵、ほか参加アーティスト  
どなたでもご自由にご参加下さい。

3月19日(土) 15:00~17:00 会場 104

シンポジウム

「アートと社会をつなぐこと」

参加費無料、2月10日からご予約ください。  
定員40名になり次第締め切らせていただきます。

パネリスト

池田修(Bankart 1929 代表)

青木明子(鴨江アートセンター副館長)

綿引展子

(アーティスト・TEGAMI - Perspektiven japanischer Künstler 主宰)

乾久子

(アーティスト・ドイツから戻って来たTEGAMI5年目展実行委員長)

ファシリテーター

三枝聡(アーティスト)

## ワークショップ&レクチャー (共に要申込み)

参加費はいずれも無料です。

ワークショップ

3月13日(日) 13:00~15:00 会場 201

「政治家コスプレ!?選挙ポスターを作ろう。」

~アートで世界は変わる~

対象 高校生

講師 稲垣智子

定員 20名

レクチャー

3月20日(日) 13:30~15:00 会場 201

「アーティストの仕事・社会とつながっている？」

対象 高校生

講師 綿引展子

定員 20名

※お申込み期間 2月10日~3月10日

定員になり次第締め切らせていただきます。

## お問合せ、お申込み先

鴨江アートセンター

静岡県浜松市中区鴨江町1番地

TEL: 053-458-5360

k.a.c@kamoeartcenter.org

お問い合わせ、お申し込みは、

メールまたは電話でお願いします。

会場までのアクセス

徒歩

浜松駅から約15分

バス(遠州鉄道バス)

乗車: 浜松駅北口バスターミナル3番のりば  
(3番乗り場のバスは全て停車します。)

降車: 鴨江アートセンター前バス停

## TEGAMIとは



TEGAMI

TEGAMI - 日本から来たアーティストのハガキ

【TEGAMI - Perspektiven japanischer Künstler (直訳すると手紙 - 日本人アーティストの視点)】(略して

TEGAMI)は、2011年3月11日の東日本大震災を受けて、

日本人アーティスト綿引展子の発案、ドイツ人マルクス・イト協力のもとドイツ・ハンブルグで展開したプロジェクトです。

震災直後。友人はもとより道でもお店でもドイツの人々から親切なお見舞いや現状についての質問を受けました。

現在の日本人の本当の気持ちを届けたい!と思ひ表現者である日本在住のアーティストたちにその時の気持ち、いま何を考えているのかをポストカードサイズの作品にして送付をお願いしました。

震災直後の慌ただしい日本でも郵便でなら、ハガキ一枚なら届けてもらえる、そう考えての事です。名称はドイツ人にも発音しやすいTEGAMIとしました。

震災直後の約一ヶ月間の募集期間に235人のアーティストさんから355点の作品が届きました。

2011年5月にハンブルグで第一回展を開催した後、毎年巡回展を行いドイツの方々から大きな関心をもっていただけています。

今回の「ドイツから戻ってきたTEGAMI 5年目展」はプロジェクト参加アーティスト42名の新作を展示し、加えて感情の記憶とも言える2011年に送られたTEGAMI(送られた作品)を展示します。

5年目の今年、改めて日本で開催し日本にいる人々とあの震災が私たちに与えたモノを共に考えたいと思います。

綿引展子、マルクス・イト

Facebookページ

<https://www.facebook.com/tegami5thyear/>

TEGAMIホームページ(独・英)

<http://www.tegami-hamburg.de/>

### -関連展示情報-

「北ドイツ反原発アーカイブ ポスター展  
—小さな村の人々が立ち上がった反原発運動—」

2016年3月10日~3月26日

主婦会館プラザエフロビー

〒102-0085 東京都千代田区六番町15

問い合わせ先

主婦連合会 TEL: 03-3265-8121

e-mail: info@shufuren.net



\* 駐車スペースはございませんので、有料の駐車場をご利用ください。